

## 神奈川県伊勢原市宝城坊の薬師三尊の防黴

江 本 義 数

伊勢原市在（旧高座郡伊勢原町高室）宝城坊（日向山靈山寺の別当坊，一般に日向薬師）の薬師三尊（図一1）が黴害を被ったので，その防除を依頼された。1962（昭和37）年8月のことである。この木彫像はカツラの一本造りで，平安中期（10世紀）に制作され（両手先まで共木から刻出され，薬師尊像の右手，台座の1部と光背，両脇侍の台座などは，後世の補作の由），荒彫（鈍彫と通常いわれている），目，眉など墨書されて，他は彩色されておらぬ素木彫で，重要文化財に指定されている。この被害の原因を調べると，三尊像が虫によって甚しく損傷されたので，昭和37年6月頃（？）丁度梅雨期に，京都の美術院の手で修理が行なわれたのである。

美術院では像に先ず PCP の水溶液を塗り，虫害による小孔をブチラール樹脂で埋め，完全に乾燥せぬ内に，更にブチラール樹脂を表面に塗ったそうである。そして文化庁美術工芸課の西川杏太郎技官の談によると，梅雨期とはいえ，修理期間中は殆ど雨天（唯1日だけ晴天）で，修理完了後，本堂内の厨子に納められたという。



月光菩薩  
像高121.7 cm

薬師如来坐像  
像高114.5 cm

日光菩薩  
像高123.0 cm

図一1 薬師三尊像

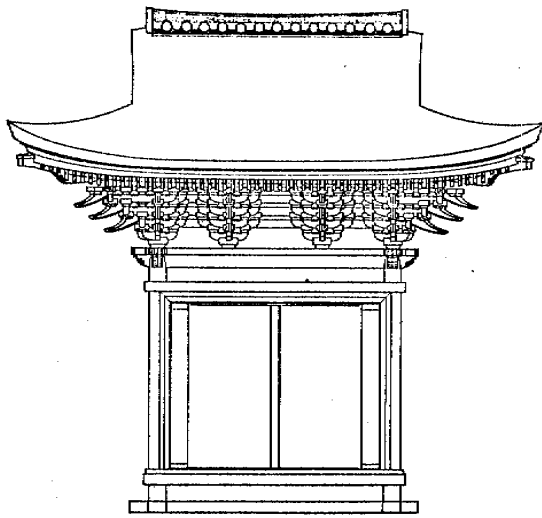


図-2 宝城坊薬師三尊厨子正面

接する部分の周囲には白色のカビ（菌糸）が見られた。

日光菩薩像：仏体の上部には薬師如来像と同様に、あまりカビの発生は見られなかったが、台座に仏像を挿し込む膺と、長方形の膺孔が2個あり、この穴に夥しく灰緑色のカビが発生していた。

月光菩薩像：カビの発生度は日光菩薩よりも少なかったが、台座に少量ながら発生を見た。それで先ず菌の採取を行なってから、像にはホルマリン・アルコール混合液を噴霧し、厨子内は三尊像を安置する前に、予めホルマリン燻蒸を行なった後に、尊像三体は台座からはずして、それぞれに、有機錫化合物（tributhyltin-oxyde）アルコール溶液を噴霧付けして、厨子内に安置した。

仏像に発生した菌を分離培養を行なった結果次の結果を得た。

薬師如来像より：

1. *Aspergillus candidus*
2. *Aspergillus glaucus*
3. *Aspergillus nidulans*
4. *Aspergillus versicolor*
5. *Oospora* sp. ?

日光菩薩像より：

1. *Aspergillus versicolor*

月光菩薩像より：

1. *Aspergillus versicolor*
2. *Penicillium citro-viride*
3. *Penicillium decumbens*

かくして、三尊像は厨子内に安置された。また近頃同寺境内に収蔵庫が建造されたそうであるが、この収蔵庫には空気調節の設備がなく全く自然の状態におかれてある。そしてこの度9月9日に催された文化財保存 Symposium の席上、西川技官から防黴剤の効果について発表があり、前記防黴処置以後は全くカビの発生が見られないと証言された。この事から昭和37年以後今日まで、約10年間は防黴の効果があったことが明かとなり、筆者にとっては誠に喜ばしい結果である。この三尊像は10月に東京国立博物館に開かれた平安時代彫刻特別展に陳列され、

この厨子（図-2）は室町時代初期（14世紀中頃）に作られ、一間厨子、入母屋造り、屋根はコケラ葺で、間口約2.5m、奥行約1.5m 建造物として重要文化財に指定されている。

然る所8月に至って三尊像と厨子の内部に甚だしいカビの発生を見たので筆者に話が来たのである。恐らく修理中の降雨続きなどで、材に水分（湿気）が含まれたか、その後は夏期の高温と高湿にあい、温度と湿度の上昇によって、カビの発生となったと考えられる。

三尊像のカビ発生状況

薬師如来像：尊像の上部にはあまりカビの発生は見られなかった（少量）、しかし台座に

筆者は親しく、柔和なお姿を拝む機会を得たのは幸であり、今後とも成果をあげるように努めたいと念願している次第である。

1971. 12. 15

#### Résumé

Yoshikadzu EMOTO: Fungi control for the statues of Yakushi (Bhaisajyaguru) Triad in the Hōjōbō Temple.

In August 1962 the fungus damage on the wood statues of Yakushi (Bhaisajyaguru) Triad in the Hōjōbō Temple located at Isehara-shi, Kanagawa Prefecture was examined. The isolated fungi were *Aspergillus candidus*, *A. glaucus*, *A. nidulans*, *A. versicolor*, *Oospora* sp.(?), *Penicillium citro-viride* and *P. decumbens*. The present author sprayed tributyl tin oxide as the fungicide. It was reported at the Symposium for Preservation of Cultural Properties that no fungus had thereafter appeared by September 1971. He is pleased to report that his fungus prevention treatment was fully effective for about ten years.